

環境第1585号
平成16年3月16日

九州電力株式会社
代表取締役社長 松尾 新吾 様

佐賀県知事 古川 康

原子力発電所に関する貴社の対応について

平成16年3月1日付けの朝日新聞朝刊での貴社のプルサーマルに関する報道について、貴社から、新聞報道にあるような「2008年をめどに玄海原子力発電所で実施する方針を固めた」、「近く佐賀県や原発周辺の市町村へ申し入れる」、「関西電力と同時期を目標に九電も手続きに入る」という事実はないとの説明を受けました。

しかしながら、その後の貴社の報道機関に対する説明等を踏まえた翌日の新聞報道等は、貴社から県が受けた説明と食い違うものでした。このことは、貴社が県へ説明した内容と報道機関へ説明した内容が異なっているのではないかと、疑念を抱かせるものです。

原子力発電に関わる問題については、安全性の確保はもとより、地域住民や県民の理解と信頼が得られることが重要であり、今回のようなことは、地域住民や県民の理解と信頼を損うものと考えます。

県におきましては、原子力施設に関わる重要な問題については、特に議論の過程がすべて外部から見えるガラス張りの中で行う必要があると考えております。

については、貴社におかれましては、報道機関等に対して正確な情報の提供に努められると同時に、地域住民や県民に分かりやすいようオープンな形で議論していただくよう強く申し入れます。

(担当：原子力安全対策室)